

Q 8 なぜ、総合的な治水を考える必要があるのか？

A 8 これまでの治水対策は、雨水を川に集めて、早く安全に流すことを基本として、河道対策や洪水調節施設の整備を実施してきました。しかし、都市化の進展に伴う流出量の増大、気候変動に起因する集中豪雨の多発等により従来の河川対策による対応では限界が生じており、洪水対策を河川だけに頼るのではなく、流域に降った降雨が河川に流出しにくい仕組みづくりを進めることにより流域全体の防災力を高めていく必要があります。そこで流域内にある様々な既存施設の活用や保全を行い、雨水の川への流出を抑制し、従来の河川対策と併せた総合的な治水対策を実施していきます。

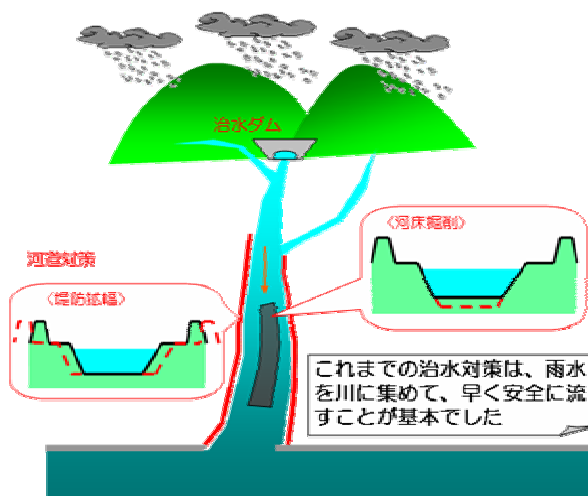


図 1 これまでの治水対策

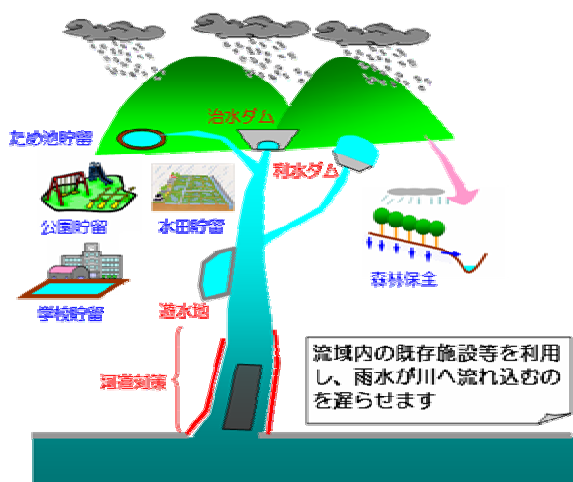


図 2 これからの治水対策